

1日目 2025 7月29日(火)

- 1 生成AI普及後の
会計事務所ビジネスの姿を大胆予測
- 2 会計業界における生成AIの活用状況
- 3 生成AIの仕組みと基本的な使い方
- 4 セブンセンスの活用事例紹介
 - 補助金申請の事業計画書
 - M&Aにおける財務デューデリジェンス
 - 財務コンサルティング
- 5 「GPTs(カスタムGPT)」の構築手順解説
- 6 生成AIをフル活用するための“導入ステップ”
 - 生成AI活用リスクと、リスクヘッジの考え方
 - セブンセンス税理士法人が取り組んだ導入までの「4ステップ」
 - 生成AIの活用を促進するセブンセンスの取り組み事例

2日目 2025 8月26日(火)

- 1 ChatGPTの最新機能を使いこなす
- 2 業務ごとの生成AIの使い分け
- 3 会計事務所向け 最新生成AI活用法
 - 業務に必要な情報を効率的に収集するTIPS
 - クライアントに対する情報発信の具体的プロセスを解説
- 4 「GPTs(カスタムGPT)」の構築実演&ワークショップ
 - ワークショップ 「調査・資料作成プロンプト」の実践演習
 - ワークショップ NotebookLMやその他の生成AIの活用
- 5 セブンセンスオリジナルの
GPTs(カスタムGPT)の事例紹介

※プログラム内容が一部変更になる場合がございます。



ChatGPTを 活用した 会計事務所の ビジネスモデル 再構築

講師
大野 修平 先生

会計事務所でも急速に進む生成AIの活用
他事務所より三歩先を行くために

安心の 「研修動画+資料」 事後送付保証つき

視聴期間
2025年
11.30日
まで

リアルタイムでの受講が難しい場合でも、
本講座にお申込み頂ければ、お申し込みいただいた回の
研修動画と資料を後日メール等で送付いたします!!
復習はもちろん、聞き逃した点や重点的に学びたい部分を、
視聴期間内であればいつでもどこでも何回でも
繰り返し受講していただけます。



講師紹介

セブンセンス税理士法人
公認会計士・税理士

大野 修平 先生

大学卒業後、有限責任監査法人トーマツ
へ入所。金融インダストリーグループにて、
主に銀行、証券、保険会社の監査に従事。トーマツ退所後は、資金
調達支援、資本政策策定支援、補助金申請支援などで多数の支援経
験を持つ。また、スタートアップ企業の育成・支援にも力を入れてお
り、各種アクセラレーションプログラムでのメンタリングや講義、ピッ
チイベントでの審査員および協賛などにも精力的に関わっている。

お申し込みについて

受講料 (税込・ 1名様)	1講座につき	44,000円	■ 本申込書をFAXいただくか、お電話または弊社WEBサイトより お申し込みください。 ■ 「ChatGPTを活用した 会計事務所のビジネスモデル再構築」は 全2講座となりますが、1講座のみのご参加も可能です。
	2講座セット特別価格	79,200円	

お支払い 方法	【銀行振込でのお払い】	お申込み受付後、ご請求内容を記載した「申込書」と「請求書」をご記入のメールアドレスにお送りいたします。
	【クレジットカードでのお払い】	決済についてはStripeのシステムを利用しています。詳細についてはご記入のメールアドレスにお送りいたします。

本講座は「Zoomによるオンライン研修」となります

インターネット環境とパソコン、マイク、スピーカー、WEBカメラがあればどこからでもセミナーにご参加いただけます！

※お申し込み後、ZoomミーティングID・PWを開催日までにe-mail等にてお送りいたします(テキストは別途郵送等にてお送りする予定です)。

※講義の録音・録画はご遠慮願います。 ※Zoomのカメラ機能はオンの状態でのご参加をお願いいたします。

WEBサイトからの
お申し込み | <https://seminar.ejinzai.jp/chatgpt-for-account/>



FAX用 お申し込み書

FAX:03-6215-9218

事務所名	ご担当者名()			お支払い方法
ご住所				☐ 銀行振込
TEL	FAX	E-mail		☐ クレジットカード

※ご希望の講座にご参加人数をご記入ください ○ 1日目 7月29日(火) 人 ○ 2日目 8月26日(火) 人 ○ 2講座セット 人

株式会社 **ビズアップ総研**

東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター10F
tel: 03-3569-0968 / fax: 03-6215-9218

www.bmc-net.jp

※ご記入いただいた個人情報は、今回お申し込みの内容に関する手続き、ならびに当社の商品やセミナー開催等に関する情報のご案内等のために使用いたします。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報相談窓口(TEL: 03-3569-0968)にお問い合わせください。 ※ZoomおよびZoom (ロゴ)は、Zoom Video Communications, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。



◎ AIを業務に取り入れたいが、
どこから始めればよいか迷っている方

◎ 所内での生成AI活用に向けた
“体制づくり”を考え始めている方

◎ GPTsや外部ツール連携など、
応用レベルの活用に取り組みたい方

◎ 定型作業にとどまらず、
専門性の高い業務にも活かしたい方



高付加価値業務の低付加価値化が 猛スピードで進行中!

単純化

低価格化

ハイスピード化

大量生産化

流れに乗るか? 置いていかれるか!?
いまがまさに分岐点です。

生成AIが、会計事務所業界でもいよいよ普及フェーズに突入。日常の雑務や定型的な業務は、どんどんAIに置き換わっています。
さらに、生成AIは、これまで“高付加価値”とされてきた領域でも活用が進み、「高付加価値業務の低付加価値化」が猛スピードで進行しています。
この講座では、生成AIを活用し、これまでにない事務所経営を実現しているセブンセンス税理士法人より大野修平先生を講師に迎え、
AI時代の会計事務所に必要なビジネスの発想法と、生成AIの活用スキルをレクチャーします。

実践
ワーク
ショップ

本講座では、座学だけでなく、
その場で手を動かして学べる
実践ワークショップをご用意しています。
ChatGPTを実際に使いながら、
日々の業務にどう活かせるかを体感できる構成です。

———〈たとえば〉———

- 「調査・資料作成プロンプト」の実践演習 ●
ChatGPTに情報収集・整理をさせ、
業務資料の下書きを作る流れを体験します。
- 「外部ツールとの連携」実践例の紹介 ●
Googleドキュメントやスプレッドシート等との連携による、
作業の自動化・効率化の方法を紹介します。
- 「GPTs (カスタム GPT)」構築手順の解説とデモ ●
自事務所専用の GPT をつくる方法を、
画面を見ながらステップごとに解説します。

この講座で
学べること

1

ChatGPTで業務を効率化、 情報収集もスマートに

働き方“そのもの”が変わる ChatGPT 活用法を習得

資料作成や調査・インプット業務など、日常的に発生する細かなタスクは、積み重なると想像以上に時間を奪います。本講座では、こうした業務に ChatGPT を取り入れ、**実務のスピードと質を同時に高める具体的な時短テクニック**を詳しく紹介。さらに、**短時間で“広く・深く・的確に”情報をキャッチする方法や、調査に役立つプロンプトの工夫、情報の信頼性を見極める視点**も身につけることができます。

2

「GPTs」や「外部ツール連携」 による業務の仕組み化

GPTs (カスタム GPT) と自動化ツールで、未来型ワークスタイルへ

ChatGPT を日常業務にしっかり定着させるために、本講座では、**GPTs を活用した社内専用 AI の構築や、Google ドキュメントや Notebook LM など外部ツールとの連携による自動化など、応用的な活用法**を学びます。これらを通じて、人に依存しない“仕組みとしての AI 活用”に向けた視点と実践のヒントを得ることができます。

3

実務で成果が出た セブンセンスの活用事例

実際に“成果が出ている現場”から学ぶ

本講座では、生成 AI を実務に活用し、業務改善・提案力向上を実現しているセブンセンス税理士法人の具体的な取り組みをご紹介します。「なぜ導入がうまくいったのか」「どのように所内に定着させたのか」など、**実際の現場でのリアルな工夫を知ること**で、**自事務所に落とし込むヒント**が得られます。

4

高付加価値業務の “新しい形”を実例で紹介

ビジネスモデルが転換した、実務のアップデート事例も公開

補助金申請や財務コンサルティングといった従来は高単価・属人的とされていた業務が、**生成 AI の活用により「低コスト・高再現性の業務モデル」へと進化**しています。本講座では、実際にこうした進化を実現した取り組みを紹介し、**「誰でも担える業務にする」ためのポイント**を詳しくお伝えします。

業種を入れるだけで、
環境分析から戦略まで自動提案。
プロレベルの“コンサル GPT”を
どう作ったか
——その構築プロセスも初公開。

業種を入力するだけで、外部環境分析 (PEST・5Forces・3C・SWOT など) から戦略立案 (商品・マーケティング戦略) まで自動で提案。大野先生が独自に構築した、**顧問先の“売り上げアップ”を支援するオリジナル GPT の開発プロセスと設計思想**も、本講座でご紹介します。